

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス いろすまいる		
○保護者評価実施期間	令和8年2月25日		～ 2008年3月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年2月25日		～ 2008年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	、スタッフ一人ひとりの得意分野や資格を活かした支援を大切にしている。	スポーツ経験のある職員(野球部・陸上部経験者)が中心となり、体幹やバランス感覚を育てる感覚統合を意識した運動あそびプログラムを取り入れている。 身体を動かす活動を通して、協調運動や順番を守る力、集団活動への参加など、社会性の基礎を育てる支援を行っている。	職員の資格や特技を活かした活動として、ファイナンシャルプランナー資格を持つ職員による「お金の学びプログラム」キャリアコンサルタント資格を持つ職員による「キャリア教育」料理が得意な職員による「クッキング活動・食育プログラム」など、生活に結びつく学びの機会を提供している。
2	保護者からの相談内容については、職員間で共有し、支援方法の検討や支援計画の見直しにつなげている。	当事業所では、保護者との信頼関係を大切に、日々の連絡帳や送迎時の対話を通して、子どもの様子や支援内容について丁寧な情報共有を行っている。	また、保護者からの相談に対しては随時対応できる体制を整え、必要に応じて個別面談を実施し、家庭での困りごとや学校生活、発達面に関する相談について助言や支援方法の共有を行っている。さらに、学校や関係機関と連携しながら、子どもを取り巻く環境全体を踏まえた支援につなげることを意識している。保護者が安心して相談できる環境づくりを大切に、家庭と事業所が協力して子どもの成長を支えていく支援体制の充実にも努めている。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	初年度ということあり、スタッフが仕事に入る時間がバラバラで スタッフ会議をする機会が難しかった	当事業所では、保護者や地域の関係機関に対して、事業所の支援内容や活動の様子について情報発信を行っている。	LINEなどで スタッフとの情報共有をつなげたい
2	保護者への情報発信が十分でない	活動内容や支援の目的について、保護者へ十分に伝わっていない部分があると考えられる。	連絡帳や資料、面談等を通して支援内容の説明をより丁寧に行い、保護者への情報発信を充実させていく。
3	活動プログラムの体系化	日々の活動は実施しているが、年間を通した体系的なプログラムとして整理することが課題である。	運動あそび、生活スキル、SSTなどの活動について年間プログラムとして整理し、より効果的な支援につなげていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス いろすまいる

公表日 令和8年3月15日

利用児童数

22 令和8年3月15日

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	4	0	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	0	0	2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	3	0	3		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1	0	0	丁寧に評価くださっているとします。	引継ぎ丁寧なアセスメントを継続します。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	4	0	3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	2	6		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	0	0	0	季節に応じた壁面プログラムをしている	引継ぎその子に合わせて活動プログラムを日々支援します。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	15	0	0	0	近隣の公園で遊ぶ際におなじクラスお友達と出会い交流しているようです。	必要に応じて検討します。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	3	0	3		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	0	5		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6	5	0	4	LINEで日々の困り感も共有しており一緒に解決策を考えてくださいます。	引継ぎ丁寧に保護者と連携していきます
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	3	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	4	0	0	あってもいいけど、なくても気にならない	今後、保護者同士の交流を検討します
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	13	0	0	2		
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	0	0	12			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	4	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	5	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	2	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	14		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1	0	3		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス いろすまいる				公表日	令和8 3月8日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	終了時 掃除、テーブルの消毒		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	子どもの意見を尊重して クールダウンした部屋などを確保している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		初年度なので評価を受け止めて 会議で改善策を考えていく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	Instagramで公表している		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0		第三者による外部評価を取り入れたいと考えている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	ミーティングに確認している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	自由遊び、設定あそび、個別課題、集団活動など、様々な活動を組み合わせている	本人支援、家族支援、移行支援、地域連携に対する具体的な取り組みを明文化し、計画的に一貫性を持たせる	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	活動プログラムを立案している	曜日別 プログラムを構築し、食育、感覚統合を意識した遊ばを設定する	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	支援者と1対1で学習する場面と、集団で活動する場面の両方を発達ニーズを考慮し個別で設定している。	子ども達の成長段階や関心に応じた柔軟なプログラムの調整を行う	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	その日の実施記録表作成時に共通している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0	4つの基本活動を個別支援計画に反映させている	4つの基本活動（学習、運動、交流、生活スキル）のバランスや頻度を定期的に見直し、子どもの興味関心や発達段階に応じた柔軟なプログラムを組む
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	それぞれのお子さんの障害特性を理解し、自己決定できるように支援していく	子どもの興味、理解度や興味に合わせて工夫し、自己決定の成功体験を積み重ねられる場面を増やします。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	必要に応じて、保護者の理解を得ながら学校と連携を行っている。	学校と情報共有の頻度や内容を定期的を実施し、こどもの状況変化に応じた具体的な情報連携を強化する。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	就学前の支援機関との連携を行う	就学前の支援機関と情報共有の方法を明文化し、定期的に事例検討の場を設けネットワークの効率化を活用促進する。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	保護者の要望に応じて、成人施設への情報共有を行っている。	卒業・以降時の情報共有を標準化し、個別支援計画や活動記録を整理して、円滑な引継ぎができる仕組みを強化する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0		スタッフとの信頼関係を築く1年であり、来年から他事業所 こどもと活動する機会をつくる
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	参加のご案内があれば参加したい	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時にその日の様子をお伝えしている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	保護者面談やLINEなどのやり取りを通してお子様の対応について話し合い、対応の仕方についてアドバイスをしている。	専門的な家族支援のプログラムへの参加機会を提供し、保護者の対応力向上を体系的にサポートする必要がある。	
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		初回の契約では説明を行っていましたが、モニタリング、で説明を行っていく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	同意を得てる	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	学校へ行きにくいお子様の保護者のご相談を丁寧に行う	日常的な相談だけでなく、定期的に保護者の悩みや要望を深堀する面談を設け、より個別化した助言や支援につなげる。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	親子での保護者会を開催し、情報交換を行った。	保護者もお仕事をしており、日程の調整が難しいが、工夫交流作っていきたい

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	こどもや保護者の苦情はありませんでしたが、その際は丁寧説明していきたい	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	SNSでを活用して発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の取り扱いは十分で留意している	個人情報の取り扱いに関するマニュアルの定期的な見直しや、職員向け研修を実施して、さらなるリスク管理を徹底する。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0		今年度は地域住民を招待する機会がつかれませんでした。次年度は機会をつくる
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	職員、子供達と訓練を実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCPを作成し、防災訓練を年2回行っている	防災訓練の結果を振り返り、想定外の課題や改善点をBCPに反映させるように定期的確認するようにする。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	保護者面談時に確認している。	面談時に確認を加え、服薬や発作状況の変化があった際に対応手順や緊急時の処置を確実に理解できるように強化する。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	食物アレルギーのあるお子様については、保護者を経由して医師の指示に従う。	医師の指示内容の更新に加え、服薬や発作状況の変化があった際に情報共有できるように、定期的な書面やオンラインでの確認体制を強化する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	地震や火災を想定した避難訓練を年に2回行っている。	避難訓練の実施後に振り返りを行い、課題や改善点を明確化して安全計画に反映し、火災時の対応向上を図る。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	家族との周知が不足している	安全計画の内容を分かりやすくまとめた資料を定期的に保護者へ配布し、避難訓練の実施結果や改善点についても共有する機会を設ける
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	毎日を振り返りでヒヤリハットを抽出し、記録し、オンラインで事業所内で共有している	ヒヤリハットの内容を定期的に分析し、再発防止の効果を検証する機会を設け、職員全体で改善策を共有実行する体制を強化する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0			